

2025 年 11 月 吉日

各 位

第 17 回日本地震工学シンポジウム

運営委員会委員長 庄司 学

第 17 回日本地震工学シンポジウムへの協賛、技術展示出展のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2026 年 11 月 26 日から 28 日まで、熊本市熊本城ホールにて、第 17 回日本地震工学シンポジウム（17th Japan Earthquake Engineering Symposium, 17JEES）を開催するはこびとなりました。17JEES は、（公社）日本地震工学会を幹事学会として、（公社）土木学会、（一社）日本建築学会、（公社）地盤工学会、（一社）日本機械学会、（公社）日本地震学会、（一社）地域安全学会、（一社）日本活断層学会、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会、（公社）日本都市計画学会の計 12 学会の共同主催で実施する予定です。

JEES は、1962 年の第 1 回からおよそ 4 年に 1 度、60 年以上、継続して開催されてきた、地震工学に関わる最新の研究成果やバラエティーに富んだ技術展示が一堂に会する権威あるシンポジウムです。前回の 16JEES は、2023 年 11 月 23 日から 25 日まで、横浜市（パシフィコ横浜ノース）で開催されましたが、多くの皆様方より協賛、並びに、技術展示を賜り、1,000 名近くの参加者をえて、盛況のうちにシンポジウムを開催することができました。あらためて深く御礼申し上げたいと思います。

一方、16JEES の直後の、2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では、1995 年の阪神・淡路大震災の既視感に苛まれるような、家屋の倒壊や斜面崩壊等による多くの死傷者を生み出し、私共の日常生活の基盤となるかけがえのない地域社会に立ち直りがきかないような凄惨な被害が生じました。16JEES からわずか 2 年から 3 年なのですが、私共が慣れ親しんできた、既往のモノの見方や価値観（パラダイム）の変革を求められる難解な時代になっています。このため、今回のシンポジウムでは、「熊本地震から 10 年：災害の多様化時代における地震工学の再定義～ 最新技術と社会連携で拓く、災害に強いレジリエントな社会の創造 ～」というテーマを掲げさせていただき、多くの参加者の皆様と今後生きる指針を、ともに考え、打ち出していければと考えております。

つきましては、17JEES の趣旨をご理解いただき、ご協賛、および、技術展示への出展をお願い致したく、ここにお願ひ申し上げる次第です。なお、協賛、技術展示の内容、お申込み方法等につきましては別紙資料をご覧ください。

なにとぞご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

ご参考：第 16 回シンポジウムの協賛・技術展示の実績につきまして

前回においては、以下の企業・団体の皆様よりご協賛、および、技術展示へのご出展を賜りました。（あいいうえお順）

1. 協賛 19 社：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jees2023/top?lang=ja> （当該サイト右側の他プログラム広告掲載や紙コップ・講演会場へロゴ掲載）

一般社団法人日本免震構造協会

株式会社 安藤・間

株式会社熊谷組

株式会社小堀鐸二研究所

株式会社竹中土木

清水建設株式会社

大豊建設株式会社

鉄建建設株式会社

戸田建設株式会社

前田建設工業株式会社

鹿島建設株式会社

株式会社エイツー

株式会社鴻池組

株式会社竹中工務店

五洋建設株式会社

大成建設株式会社

タスク株式会社

東急建設株式会社

配水用ポリエチレンパイプシステム協会

2. 技術展示 22 社：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jees2023/static/TechnologyExhibition>

アールシーソリューション株式会社

株式会社大崎総合研究所

株式会社 ANET

株式会社大林組

株式会社コンステック

京都大学防災研究所

ケミカルグラウト株式会社

国立研究開発法人防災科学技術研究所

タスク株式会社

配水用ポリエチレンパイプシステム協会

富士電機株式会社

一般社団法人日本免震構造協会

株式会社アーク情報システム

株式会社 安藤・間

株式会社勝島製作所

株式会社東京測振

下水道既設管路耐震技術協会

国立研究開発法人海洋研究開発機

JIP テクノサイエンス株式会社

東京大学地震研究所 IT 強震計コンソーシアム

白山工業株式会社

<17JEES シンポジウム概要>

名 称 : 第 17 回日本地震工学シンポジウム

テ ー マ : 熊本地震から 10 年

災害の多様化時代における地震工学の再定義

～ 最新技術と社会連携で拓く、災害に強いレジリエントな社会の創造 ～

行 事 : 研究発表会（オーガナイズドセッション・一般セッション、ポスターセッション）、特別セッション、特別講演、一般市民向け公演、技術展示、懇親会

開 催 期 日 : 2026 年 11 月 26 日（木）～28 日（土）

会 場 : 熊本城ホール

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町 3 番 40 号

主 催 : 第 17 回日本地震工学シンポジウム運営委員会

（構成団体：日本地震工学会〔幹事〕、地域安全学会、地盤工学会、土木学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本建築学会、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本地震学会、日本自然災害学会、日本都市計画学会）

ウェブサイト : <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jees2026>

本 状 差 出 人 : 第 17 回日本地震工学シンポジウム運営委員会

公益社団法人 日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4F

e-mail: office@general.jaee.gr.jp

TEL: 03-5730-2831 FAX: 03-5730-2830

協賛内容

協賛金額： 1口 100,000円

- 協賛特典：
- (1) 1口につき1名の参加費無料
 - (2) シンポジウム受付・特設ブースにて協賛団体提供パンフレット等を配置（口数に応じて、配置可能部数を調整予定）
 - (3) シンポジウムウェブサイトにおけるリンク付きバナー広告掲載
全ての協賛団体 ウェブサイトに団体名掲載
2～3口 バナー広告（横160ピクセル×縦90ピクセル）
4口以上 バナー広告（横160ピクセル×縦120ピクセル）
 - (4) 講演会場スクリーンへの団体名・ロゴの表示
1口 団体名のみ
2～3口 ロゴ表示（小）
4口以上 ロゴ表示（大）
 - (5) コーヒーブレイク用・紙カップへの団体名・ロゴの印刷
（口数に応じて、団体名のみからサイズの異なるロゴを印刷予定）

申込期限： 2026年5月11日（月）

申込方法： <https://forms.gle/NiAejqapyQi5TakK8>

広告等の詳細につきましては、お申込みいただいた方に追ってご連絡差し上げます。



お問合せ・お申込み先： 第17回日本地震工学シンポジウム運営委員会

<委託先運営事務局> 株式会社防災ログ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目3番13号 西新宿

水間ビル 6階 TEL.050-5357-2772

Email.office@bousailog.com

技術展示内容

展 示 期 間 : 2026 年 11 月 26 日 (木) ~28 日 (土)

展 示 会 場 : 熊本城ホール 3 階 会議室 A1・ホワイエ②

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町 3 番 40 号

募 集 小 間 数 : 26 小間程度

- ・ 1 小間は幅 1.8m×奥行 1.8m 程度の予定です。
- ・ 申込多数の場合は申込受付順を基本としますが、運営委員会で調整の上、お断りさせていただく場合があります。

出 展 料 : **1 小間 180,000 円**

- ・ 出展料には 1 名の参加登録費が含まれます。
- ・ 複数小間の申込が可能です。(申込多数の場合はご希望に沿えない場合があります。)
- ・ 希望者はシンポジウム・ウェブサイトリンク付きバナー広告(横 160 ピクセル×縦 90 ピクセル)の掲載が可能です。

小 間 位 置 : 申込後に希望を調査の後、決定します。位置の希望は申込受付順を基本とさせていただきます。

小 間 仕 様 : 衝立板、団体名板、コンセント 1 個、テーブル 1 本

申 込 期 限 : 2026 年 5 月 11 日 (月)

申 込 方 法 : <https://forms.gle/NiAejqapyQi5TakK8>

出展の詳細につきましては、お申込みいただいた方に追ってご連絡差し上げます。



お 問 合 せ ・ お 申 込 み 先 : 第 17 回日本地震工学シンポジウム運営委員会

< 委託先運営事務局 > 株式会社防災ログ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目 3 番 13 号 西新宿水間ビル 6 階 TEL.050-5357-2772

Email.office@bousailog.com

尚、本ご案内の内容は、今後、シンポジウム開催方法等に変更があった場合に、変更を余儀なくされる可能性があります。併せて御了解の程お願い申し上げます。



技術展示会場(予定)熊本城ホール三階 フロアマップ